

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（なごみ・ほほえみユニット）

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議議に理念、基本方針、スローガンを唱和することで共有、意識付けを行っている勤務表に理念を載せて常に確認できるようにしている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入している。コロナの影響で地域の行事や公民館イベントなど参加できていない。	関係性を継続するために、毎月ひので通信を公民館に配布している。公民館の行事は中止せず、感染対応をして取り組んでいる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヶ月に1回の開催、活動状況や事故ヒヤリハットなどを報告し、ご意見をいただいている。コロナ感染拡大により書面での開催となっている。	コロナ禍で書面での開催がほとんどではあるが、委員の方々から意見を伺い、連携して活動していく。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者は運営推進委員会に参加している。新入居の方の情報の確認や申請の相談、骨折等の事故報告など窓口で行っている。	管理者は市役所の窓口を訪ねて、事業所担当者に運営推進会議の報告をしている。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束適正化研修に参加している。チェックリストを活用し日々のケアの振り返りを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急に立ち上がるなど転倒のリスクがある方でもその利用者のペースで対応している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員会議で職員の言葉遣いや態度から、虐待に発展しないよう意識付けと、確認を行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会時や電話での対応の際も親切で丁寧な対応で普段の接し方が伝わる。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業を利用しておられるご利用者がおられ、関わりを持ちながら理解するようにしている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設で出来ること、出来ないこと、サービス内容など、契約書、重要事項説明書を説明し、同意を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で面会禁止(制限つきで面会が可能な時もある)の状況の中、毎月機関紙・お便り・写真を送り近況報告を行い電話での意見・要望を伺うようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族として毎月の写真やお便りを楽しみにしている。ひので通信で利用者の元気な様子がわかる。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は日常的に職員と意見交換を行っており、職員からの意見・提案などを聞き、事業所運営に反映している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	向上心を持って働けるように目標面談を実施し希望する研修に行くことや、業務改善提案を聞き、時間外勤務にならないような職場環境に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の受け答えが明るいと感ずる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月2回エリア内でも研修の機会があり、希望の研修への参加を推奨している。研修資料をいつでも閲覧できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修状況などの報告を受けている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他事業所での発生事故の情報共有を行ったり、委員会活動において、他事業所職員と意見交換を行い質の向上に努めている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	常にコミュニケーションをとりながら、日々困っていることなどを伺い、安心して暮らせるよう関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で馴染みのところに出かけることは出来ていない。お便りや写真を送ったり、面会が出来ない時はオンラインでの面会を行っている。	コロナ禍で面会が制限されているが、電話で馴染みの方と話されたり、以前飼っていたペットと会うことが出来ている。		

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の思いを聞いたり、会話の中で本人の思いなど汲み取り希望や意向に近づけるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の気づきを記録、3ヶ月に1回モニタリングを行いチーム会で課題とケアのあり方を検討し、本人・家族の意見を取り入れ介護計画に反映している。	本人・家族の意向と、チーム会での職員の意見を聞き、計画作成担当者が介護計画を作成している。	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の意向を確認し、安心して穏やかに生活できる計画の作成が出来る。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日個人記録に様子を記録、職員間で情報共有し検討、モニタリングに反映させて介護計画の見直しに活かしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	転倒や異食などの事故が発生した時は、迅速に対応策を実施し、介護計画の見直しに活用出来ている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の状況状態に合わせて、多職種(栄養士・歯科衛生士・リハビリスタッフ)と連携を図りながら、支援が出来ている。	専門職員は他施設に在籍しており、さかいエリア内でいつでも連絡や相談が出来る体制になっており、定期的に訪問も受けている。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	コロナの影響で地域行事や、公民館での活動などに参加できなくなっている。	地区の運動会は内容の変更を検討中。コロナが収まれば、公民館行事や地域との交流を再開していく。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今までのかかりつけ医の継続または、希望のかかりつけ医に変更し、往診や家族同行の受診体制が出来るよう情報の共有に努めている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	Ⓐ 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院先の主治医、医療ソーシャルワーカーと連携を図りながら情報提供を行い退院に向けての話し合いを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院を希望しない利用者もおられ、かかりつけ医と連携している。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介護計画更新時、本人・家族に意向の確認をし、事業所で出来る事、出来ない事も説明している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	高齢のため何度も終末期かと心配であったが、その都度相談や確認をして対応している。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	エリア内での緊急時対応の研修に参加し、内容共有している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回防災訓練している。初期動作の確認、迅速に行動できる体制作りに取り組んでいる。	地域との防災訓練は出来ていないが、回覧板で周知している。手順を映像で確認出来るのは良い。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍のため訓練に参加出来ないが、紙面で訓練の報告を受けている。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	介助に入る際には必ず声をかけてから行うようにしている。プライバシーを損なわない言葉かけや対応を心掛けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員の声掛けで利用者が笑顔になる様子を見て安心できている。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	それぞれのペースで、居室や食堂で自由に過ごされている。日常生活での希望を伺うようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来ることはお手伝いをお願いして食器拭きなどして頂いている。誕生日には好きなメニューを伺って提供している。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	出来ることを探して利用者にしてもらっている。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月、栄養士の訪問があり、食事摂取状況の確認と助言をもらっている。水分は摂取状況が分かるように記録している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後口腔ケアの声かけや必要な方には職員が仕上げ磨きをしている。月1回、歯科衛生士の訪問があり助言を受けている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	口腔内に大きなトラブルもなく過ごせている。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の状態に合わせて支援できるよう 毎月チーム会で話し合いをしている。便秘解消のためにカスピ海ヨーグルトを提供し、トイレで腹部マッサージを行っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高齢で筋力低下や認知機能の低下もある中、トイレでの自然排便を継続している。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴日は職員が予定を決めているが、希望がある方は伺っている。本人のタイミングに合わせて入浴して頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気候に合わせて室温や布団の調整を行っている。休息や就寝時間はそれぞれのペースで行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の用法、注意事項など薬剤師から説明を受けている。薬の変更の際は職員が共有できるようにしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に服薬方法を考えて支援している。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食器拭き、洗濯物たたみ、編み物、パズル、ナンプレ、塗り絵、ちぎり絵など一人ひとりに合わせて出来ることをして頂いている。食べたい物を伺って提供している。	一人ひとりの好みを聞き、利用者が楽しめるように実施していく。小物作りなど指先を使うことは良いので取り組んでください。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	コロナ禍でほとんど出来ていない。	コロナ禍ではあるが、近所を散歩したり、ドライブなど出来ることを確認して実施していく。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者はお金の所持はされていないが、事業所が預り金を管理しており、欲しい物があるときは、購入して頂いている。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電話は食堂にあり、自由に使用されたり、職員が電話の取り次ぎをして話をされている。友人との手紙のやり取りもされている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	整理整頓を心掛け、利用者の席の配置等安全を考え実施している。季節に合わせた飾り付けを行い、季節感が感じられる工夫をしている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で建物内部には入ることが出来ないが、お便りで施設内の季節ごとの飾り付けを見るのを楽しみにしている。
<b>IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	普段の会話からご利用者一人ひとりの思いを聞き取り、定期的にご家族にも要望を伺い支援に活かしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には本人や家族から生活歴や趣味など伺いヒストリーシートを作成し支援に活かしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ医と連携し日々の状況を共有して支援が出来る。必要な方には手すりを設置したり、ふらつかれてもすぐに手で掴まれるように椅子を置いている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に往診があり、必要な医療ケアを受けることが出来る。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室で休みたい方は自由に休んで頂ける様にしている。起床も一人ひとりに合わせた時間で行っている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時には、馴染みのものを持ってきて頂いたり、家族との写真等も居室に飾っている。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	写真が飾ってあるが、居室の様子を見ることが出来ない。

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ③ あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出や催し事には参加していないが施設内で毎月行事を開催し参加できるようにしている。	コロナが収まれば、希望を伺って出かけていく。施設内での行事も喜ばれている様子を通信で見えています。来年度も計画を立てて実施する。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る事、出来ないことを理解して支援を行い、食器拭き、洗濯物たたみ、新聞折り、メニュー書きなど個々の能力、好みを考え役割や楽しみにつなげている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士や職員との会話で、大きな笑い声を聞くことが出来ている。家族への贈り物を制作されている。		A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ対応の時は居室での時間が長く、本人の好きな食堂で職員の姿を見ることが出来なかったことは残念だった。発語が少なくなったが本人の好きな場所で過ごして欲しい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ① ほとんどできていない	コロナ禍で地域へ出かけることは出来ていない。ホーム内の他ユニットの利用者との行事は喜ばれている。	地域の人々との関わりは出来ていないので、幼稚園など関わりを続けていく。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	チームで話し合いをおこない、一人ひとりを尊重し楽しみのある生活を送って頂けるよう支援している。共に生活する職員との信頼関係が築けるよう努めている。	本人・家族から、ここに入れて良かったと言ってもらえるように努めていく。	A. 十分にできている ② ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族として満足している。97歳で入居し、今年5月には108歳を迎えることを楽しみにしている。